# 令和7年度 年間授業計画

教 科:保健体育 科 目:保健 単位数:1

対象学年:第2学年

V1901 1 - V157 1	1	
使用教材	教科書:	新高等保健体育 (大修館)
使用教例	補助教材:	なし

### 教科 ( 保健体育 )の目標

【知 識 及 び 技 能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。
	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

## 科目( 保健 )の目標

付日( 体健 / の日信	
【知 識 及 び 技 能】	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	健康についての自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む ための学習に主体的に取り組む態度を養う。

### 令和7年度 年間授業計画 科目( 保健 )

	指導項目·內容	評価規準	知	思	態	I
単元 生涯の各段階における健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の親点別評価規準に従い評価する。				Ī
知識及び技能	指導事項	知識・技能				
主選の各段階における健康について理解すし説明することができるようにする。	思春期、結婚生活	生運の各役階における健康課題について理解し、説明している。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会問題から考えることができるようにする。	教科書等	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会同語から考えている。	0	0	0	
学びに向かう力、人間性等	一人 1 台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
物者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。	調べ学習や発表など	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。				
単元 生涯の各段階における健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				T
知識及び技能	指導事項	知識・技能				
加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解することができるようにする。	加齢と健康	加齢による心身の変化や、高齢期の健康課題について理解することができる。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
思考力、判断力、表現力等 新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会問題から考えることができるようにする。		思考・判断・表現 新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えている。	0	0	0	
新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えることができ			0	0	0	
新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会問題から考えることができるようにする。	数料書等 一人1台端末の活用場面	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会問題から考えている。	0	0	٥	

### 令和7年度 年間授業計画 科目( 保健 )

	単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	単元 労働と健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	働くことの意義と働き方の多様化について環接できるようにする。	労働災害と健康、働く人の健康の保持増進	働くことの意義と働き方の多様化について理解することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会問題から考えることができるようにする。	数科書等	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会問題から考えている。	0	0	0	6
	学びに向かう力、人間性等	一人 1 台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
2	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。	調べ学習や発表など	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。				
学	単元 環境と健康	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
期	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	人間の生活や産業活動は、様々な自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼすことに ついて、 理解できるようにする。	環境の汚染と健康、環境と健康に関わる対策、環境衛生に 関わる活動	人間の生活や産業活動は、様々な自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼすことについて、理解することができる。				
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会問題から考えることができるようにする。	教科書等	新しく得た知識を基に、どのような行動ができるが個人と社会問題から考えている。	0	0	0	7
	学びに向かう力、人間性等	一人 1 台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。	調べ学習や発表など	他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。				

会社は年間することは環境の利用を記してて書面であることについて、理面である。	い評価する。			
定金性を確保することは環境の特別機能によって需要であることについて、機能できるように対して、発展できるようにする。  一般が、対策が、表現が無い、このような行動ができるか組入と社会内間から考えることができるようにできます。  一人工会社業の活動機能  新して何た知識を禁む。このような行動ができるか組入と社会内間から考えることができるようにできます。  新聞書・高額制度とび他域の開催・最前機能がついて関係できるようにする。  「日本の利用を関係している。」  「日本の利用を対している。」  「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。  「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。  「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。 「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。 「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。 「日本の利用をいまする。 「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。 「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。 「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。 「日本の利用をいまする。」  「日本の利用をいまする。 「日本の利用をいまする。 「日本の利用をいまする。」  「				
部と、何かた関係を基に、どのような行動ができるが個人と社会問題から考えることができない。	健康の保持増進にとって重要であることについて、理解すること			
世界の	どのような行動ができるか個人と社会両面から考えている。	0	0	0
日本の考えを開いて多様の考えを知り、試し合いの中で解決法を考えることができるよう 第一字習や表表など 中春の考えを聞いて多。 中春の考えを聞いて多また。 アの観点が対極概率 日本の考えを聞いて多また。 アの観点が対極概率 日本の対策と対象の対策・高級機関 日本の対策となった。 日本の対策を担いて多まの考えを聞いて多まの考えを思いて多また。 日本の対策と対策となった。 日本の考えを聞いて多また。 日本の考えを聞いて多また。 日本の考えを聞いて多また。 日本の考えを聞いて多また。 日本の考えを聞いて多また。 日本の対策を出れて多また。 日本の考えを聞いて多また。 日本のの対策を出れてある。 日本のの対策を出れてある。 日本のの対策を出れてある。 日本のの対策を出れてある。 日本のの対策を記れてある。 日本のの対策を記れておいてある。 日本の対策を記れてある。 日本の対策を記れておいてある。 日本の対策を記れてある。 日本の対策を記れていて、 日本の対策を記れていて、 日本の対策を記れていて、 日本の対策を記れていて、 日本の対策を対策を記れていて、 日本の対策を対策を記れていて、 日本の対策を対策を記れていて、 日本の対策を対策を記れていて、 日本の対策を対策を記れていて、 日本の対策を対策を記れていている。 日本の対策を対策を記れていている。 日本の対策を対策を記れていています。 日本の対策を対策を記れていている。 日本の対策を表れていている。 日本の対策を表れていている。 日本の対策を表れていている。 日本の対策を表れていていている。 日本のが対策をよった。 日本のが対策を表れていていている。 日本のが対策を表れていていていまな、 日本のが対策を表れていていていまな、 日本のが対策を表れていていていまな、 日本のが対策を表れていていていまな、 日本のが対策を表れていていていまな、 日本のが対策を表れていていていまな、 日本のが対策を表れていていていていていていていていていていていていていていていていていていてい				
	態度			
	な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。			
保護・医療制度及び地域の保護・医療機関について理解できるようにする。	い評価する。			
新しく得た知識を基に、どのような行動ができるが個人と社会問題から考えることができ るようにする。  一人1台端末の返用場面  三体的に学習に取り組 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。  本元  本元  本元  本元  本元  本元  本元  本元  本元  本	1の保健・医療機関について理解することができる。			
語しく得た知識を基に、どのような行動ができるが個人と社会問題から考えることができ あようにする。  一人1台端末の返用場面  三体的に学習に取り組 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決点を考えることができるよう にする。  本元  本元  本元  本元  本元  本元  本元  本元  本元  本				
学びに向かう力、人別性等  一人1台版本の活用場面  主体的に学習に取り組  市者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。  おまざまな保健活動や社会的対策  指導項目に対し、次の数対等を活用する。  次の概念別評価規率に  地域配と研究であるようにする。  「おりまかして各種の保健活動や社会的対策が行われていること  を理解できるようにする。  「おりまかして各種の保健活動や社会的対策ができるが個人と社会問題から考えることができ  がは、学びに向かう力、人間性等  「おしく得た知識を基に、どのような行動ができるが個人と社会問題から考えることができるよう にする。  「は実に関する環境づくりと社会参加  「原本項目に対し、次の数対等を活用する。  「なり着して多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。  「本本の主意用場面  「本本的により表現して多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。  「本本の主意用場面  「本本的により表現して多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。  「本本の主意用場面  「本本的により表現して多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう  「おり、単常・判断・表現  「おり、経典・関する環境づくりと社会参加  「おり、経典・関する環境づくりが重要であることについて、  「おり健康に過ごせる社会に向けた環境づくり  「本本の健康を保持権関係できるようにする。  「本本的によりませんに向けた環境づくり  「本本の健康を保持権関係できるようにする。  「本本・判断・表現  「本本・判断・表現  「本本・判断・表現  「本本・対策力・表現力等  「本本・対策力・表現力等  「おり、非常力・表現力等  「おり、非常力・表現力等  「おり、非常力・表現力等  「おり、非常力・表現力等  「おり、非常力・表現力等  「おり、非常力・表現力等  「おり、非常力・表現力等  「おし、保持を回答を必要  「本本・判断・表現	どのような行動ができるか個人と社会両面から考えている。	0	0	0
他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう 関本学習や発表など  他者の考えを聞いて多様にする。  総書の考えを聞いて多様に動か社会的対策  知識を好機を  起導専項  知識を研究を含ますには、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていること を理解することができ  を理解することができ  を理解することができ  を理解することができ  を理解することができ  を理解することができ  を考か、判断力、表現力等  おしく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会同画から考えることができるよう にする。  は像に関する環境づくりと社会参加  指導項目に対し、次の教材等を活用する。  本者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。  は像に関する環境づくりと社会参加  は際に関する環境づくりと社会参加  は際に関する環境づくりが重要であることについて、理解できるようにする。  本表  の自然の確康を保持権差するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解できるようにする。  本表  の自然の情報を受ける環境づくりが重要であることについて、理解できるようにする。  本表  の表  の表  の表  の表  の表  の表  の表  の表  の表		Ü	0	O
世元 きまざまな保健活動や社会的対策 担導専項 知識と技能 投稿 できるようにする。 次の観点別評価規率に 担議及び技能 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 次の観点別評価規率に 投資関や世界では、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていること さまざまな保健活動や対策 投が国や世界では、健康期末もことができ 表帯力、判断力、表現力等 教材 思考・判断・表現 部しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会同画から考えることができ 教科書等 新しく得た知識を基に なのまえを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう 調べ学習や発表など 総者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう は事項目に対し、次の教材等を活用する。 次の観点別評価規率に は悪に関する環境づくりと社会参加 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 次の観点別評価規率に 自他の健康を保持環差するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、 選もが健康に逃ごせる社会に向けた環境づくり 自他の健康を保持環治するによるようにする。 なの観点別評価規率に 地域及び技能 指導専項 知識・技能・自他の健康を保持環治するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、 選もが健康に逃ごせる社会に向けた環境づくり 自他の健康を保持環治するによりにする。 教科書等 都くもようにする。 教材 影考・判断・表現 新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会同面から考えることができ 教科書等 新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会同面から考えることができ 教科書等	態度			
指導事項   知識・技能   投水間や世界では、健康問題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていること   さまざまな保健活動や対策   投水間や世界では、健康理解することができ   を理解することができ   表表の、実際力等   表表の、実際力等   表表の、実際力等   表表の、実際力等   表表の、大学音を表えることができ   表表のできるようにする。   表表のできるか個人と社会問題から考えることができ   表表の考えを聞いて多様な考えを知り、誰し合いの中で解決法を考えることができるよう   調べ学音や発表など   他者の考えを聞いて多様な考えを知り、誰し合いの中で解決法を考えることができるよう   は事項目に対し、次の教材等を活用する。   次の拠点列評価規率に   対議を関係を保持機遇するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、	な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。			
指導事項   知識・技能   投水間や世界では、健康問題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていること   さまざまな保健活動や対策   投水間や世界では、健康理解することができ   を理解することができ   表表の、実際力等   表表の、実際力等   表表の、実際力等   表表の、実際力等   表表の、大学音を表えることができ   表表のできるようにする。   表表のできるか個人と社会問題から考えることができ   表表の考えを聞いて多様な考えを知り、誰し合いの中で解決法を考えることができるよう   調べ学音や発表など   他者の考えを聞いて多様な考えを知り、誰し合いの中で解決法を考えることができるよう   は事項目に対し、次の教材等を活用する。   次の拠点列評価規率に   対議を関係を保持機遇するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、				
投が国や世界では、健康課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていること きまざまな保健活動や対策 投が国や世界では、健康理解できるようにする。	い評価する。			
を理解することができ  思考・判断・表現力等  和し、得た知識を基に、どのような行動ができるが個人と社会問題から考えることができ  数科書等  一人 1 台端末の活用場面  主体的に学習に取り組 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう 。  「本事項目に対し、次の教材等を活用する。  なの表えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう にする。  本事項目に対し、次の教材等を活用する。  なの最点別評価規率に  知識及び技能  ・自命の健康を保持権選手さには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、 理解できるようにする。  思考・判断・表現  新しく得た知識を基に、どのような行動ができるが個人と社会問題から考えることができ  数材  数材  数本  数本  数本  数本  数対				
新しく得た知識を基に、どのような行動ができるが個人と社会周囲から考えることができ 教科書等 新しく得た知識を基に がしく得た知識を基に がしく得た知識を基に がして得た知識を基に がして得た知識を基に が	課題に対応して各種の保健活動や社会的対策が行われていること。 。			
をようにする。  学びに向かう力、人間性等  一人1台端末の活用場面  主体的に学習に取り組 他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう 同べ学習や発表など  他者の考えを聞いて多 にする。  様康に関する環境づくりと社会参加  指導項目に対し、次の教材等を活用する。  次の観点別評価規率に  知識及び技能  指導項程  知識・技能 ・自他の健康を保持確定するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、 理称できるようにする。  郷オのようによる ・自他の健康を保持確定するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、 理解することができる 表表す。  原考力、判断力、表現力等  新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会同面から考えることができ  教材書等  新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会同面から考えることができ  教材書等  新しく得た知識を基に、				
他者の考えを聞いて多様な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えることができるよう 調べ学習や発表など 他者の考えを聞いて多にする。	どのような行動ができるか個人と社会問題から考えている。	0	0	0
は東京 線原に関する環境づくりと社会参加 指導項目に対し、次の教材等を活用する。 次の観点別評価規率に 知識及び技能 指導事項 知識・技能 ・自他の健康を保持環選するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、 理解できるようにする。 理解することができる の表力、判断力、表現力等 教材 思考・判断・表現 新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会問題から考えることができ 教料事等 新しく得た知識を基に、	態度			
振導事項 知識人が技能・自由の健康を保持権差するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、 超もが健康に適ごせる社会に向けた環境づくり ・自由の健康を保持権 理解することができるようにする。 現所することができる 現所することができる 現所することができる 表対、判断力、表現力等	な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。			
・自他の健康を保持権差するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、 選易が健康に逃ごせる社会に向けた環境づくり 自他の健康を保持権 理解することができる 思考力、判断力、表現力等 教材 思考・判断・表現 新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会同面から考えることができ 教料書等 新しく得た知識を基に	い評価する。			
理解できるようにする。 理解することができる 理解することができる 思考力、判断力、表現力等				
新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えることができ 教科書等 新しく得た知識を基に	するには、健康に関する環境づくりが重要であることについて、			
新しく得た知識を基に、どのような行動ができるか個人と社会両面から考えることができ 教科書等 新しく得た知識を基に				
	どのような行動ができるか個人と社会両面から考えている。			_
		0	0	0
学びに向かう力、人間住等 一人1台端末の活用場面 主体的に学習に取り組	態度			
	な考えを知り、話し合いの中で解決法を考えている。			
定期考査(期末考徴)/返却と解説	l l		0	0